

## 5 発達支援センター「はあと」の相談体制を充実

専門職を配置し、多様な相談への対応や相談待機時間の短縮へ

発達に関する相談は、年々相談内容が複雑化・多様化（背景に不登校や家庭環境など）してきています。令和4年度からは臨床心理士を増員して対応していますが、相談までの待機期間は2週間から1カ月待ちの状態でした。

令和5年度は、磐田市発達支援センター「はあと」の相談体制を充実させて多様な相談に対応していきます。

### 1 概要

発達支援センター「はあと」へ新たにソーシャルワーカー、言語聴覚士を配置し、多職種連携による多様な相談への対応や相談待機時間の短縮を目指します。

### 2 内容

#### ①ソーシャルワーカーを配置

相談待機期間の更なる短縮や、複雑化・多様化している相談への対応、医療機関や学校、幼稚園等の関係機関との「連携」や「情報共有」を目的に配置します。

#### ②言語聴覚士を配置

「幼児ことばの教室」入級希望者の見立てや指導員のスキルアップを目的に配置します。

### 3 期待する効果

#### ①相談体制の充実

- ・多職種による相談や支援で複雑化や多様化する相談に対応
- ・対人援助の専門家（ソーシャルワーカー）の配置で相談待機期間を短縮
- ・言語聴覚士の配置で「幼児ことばの教室」と「はあと」の連携強化
- ・医療機関と連携し、医療機関受診後の相談にも対応

#### ②多職種連携による相談への対応

子どものあらわれや保護者の悩みごとへのファーストタッチとして、各専門職が連携を図りながら、相談の受理、支援方法、受診の必要性などを複数の視点から重層的に検討できる体制を構築します。

#### ③早期(低年齢)からの相談支援

臨床心理士が1歳6か月児健診等での心理相談を実施し、健診事後教室でのフォローや保健師との連携を通じ、早期(低年齢)のうちから「はあと」での相談や支援に繋がられる体制を構築します。

※磐田市発達支援センター「はあと」（場所：iプラザ2階）

市が聖隷福祉事業団に運営委託し、専任スタッフが発達に関するさまざまな悩みについて一緒に考え、必要な助言や支援を行う施設です。